



めつぼう 減亡の 危機が、王妃によって 救われる

ヨセフの父親ヤコブ、それに兄弟とその家族がエジプトに落ち着いた後、ヘブル人である彼らの後の世代は、エジプトでとても幸せに暮らしていました。ところが、何世代も経てヘブル人の人口が増えた時、状況が変わりました。

新しいパロが国を支配するようになったのですが、どんどん増えていくヘブル人が強大になり過ぎることをおそれ、おそろしい命令を下したのです。それは、ヘブル人に生まれる男の赤ちゃんは一人残らず、ナイル川に投げ入れて殺してしまえというものでした。

けれども、生き残った赤ちゃんが一人いました。母親の祈り深い行動と神様の奇跡的な保護のおかげで、この赤ちゃんは川から救い出され、パロ自身の娘に世話されるのです。目を見張るような物事の展開により、この赤ちゃんはパロの娘にモーセと名付けられて、パロの宮殿で育ちます。この赤ちゃんは、大人になると神様に用いられて、エジプトの束縛からヘブル人を解放することになります。

モーセの生涯と彼の旅は、聖書の多くの章に渡って書き記されています。ヘブル人を荒野に導き出し、約束の地まで連れて行く旅路や、神様が2枚の石板に書き記して下さった十戒を受け取るお話もあります。赤ちゃんのモーセについてのくわしいお話は出エジプト記の第1章-第2章10節に、モーセが十戒を受け取るお話は出エジプト記の第31章に書かれているので、読んでみましょう。

文: デイディエ・マーティン 絵: デイディエ・マーティン デザイン: ステファン・ミラー

Copyright © 2014年、デイディエ・マーティン 使用許諾取得済 "Old Testament_Doomed, but Saved by a Princess"--Japanese